



全道各地区から

全道各地で開催された「森とのふれあい企画」のようすをご紹介します。



札幌西地区 ● 旭川市「大雪水資源センター散策 & 見学」[開催日]10/14 [参加者]40名

前日に熊が目撃されたため、大雪の水資源センターの源泉までの森の散策は実施できませんでしたが、同センター職員さんに森のようすや取水工程などを説明していただいた後、源泉水を飲むことができました。参加者からは「木と水の町である東川町へ行き、とても自然豊かな環境に大雪の水が湧き出ていることを知りました。これからも安心して飲むことができると思いました」との感想をいただきました。



札幌東地区 ● 長沼町「生産者と地域で育てる防風林の観察と学習」[開催日]7/8 [参加者]26名

北海道固有の貴重な野花や、エゾリス、クマゲラ、コテングコウモリが息息する自然林を防風林として活用している現状を見学。森の手入れは公募のボランティアが笹刈りを行い、雑草ぬきは、近隣の生産者が仕事の合間に行い地域の大切な森として、守り育てられています。この森により、台風の影響から畑が守られた話を生産者さんからお伺いし、私たちの食卓と森の繋がりも学ぶことができました。



小樽・石狩A地区 ● 真狩村「早春の植樹地観察」[開催日]3/25 [参加者]24名

毎年植樹している「ごとう農園」へ、雪が残る早春に出かけました。最初に、スノーモービルで周辺の森に出かけて、冬の森を散策しました。雪に覆われた森は春や夏とは違う静けさでした。農園に戻ってからは、農園主の後藤さんによる「畑にとつての雪の役割と必要性」の勉強会です。手書きの絵を使って説明していただいた後、実際に雪の下から人参を掘り出して味見をしました。雪が持つ、冷蔵庫の力を感じることができた貴重な体験でした。自然・社会・料理と多分野にわたって学び、体験することができました。

南空知・石狩B地区 ● 栗山町「自然観察、自然保護の学習」[開催日]8/25 [参加者]13名

● 長沼町「防風林の役割と自然保護の学習と植樹地の観察」[開催日]8/28 [参加者]20名

栗山町では里山を案内していただきました。水辺を中心とした20年計画の里山づくりです。長沼町では森林管理を学んだ町民が「森の管理人」として防風林の手入れを行っています。元からある樹を守ることが環境保全につながるお話が印象的でした。栗山町の植樹地に立ち寄り、成長のようすを観察してきました。



旭川地区 ● 「Fの森」(当別町)と物流センター(江別市)見学会 [開催日]11/15 [参加者]40名

北海道の森づくりを模索・実践し、広め、伝えることを目的とした「森づくりワークショップ」の取組みを見学に出かけました。ワークショップに携わっている基金運営委員や事務局の方の説明を受けながら、「Fの森」を散策しました。地図を片手に散策した参加者からは「Fの森は行ってみたいだったので、うれしかったです。春に再びこの森をみたいね」との声をいただきました。



帯広地区 ● 池田町「秋の森の散策と花炭体験」[開催日]10/21 [参加者]21名

助成団体の「NPO 法人トクプチの森」に協力していただき、じゅんの森で開催しました。トドマツとカラマツの見分け方や樹木の名前の由来を教えてくださいながら、秋の森を散策。2012年に植樹した木は大きいものでは1mほどに成長していました。炭焼き小屋では木の実やレンコン、かぼちゃ、なすびなどを缶に入れて焼く花炭づくりを体験しました。原材料の姿が残る花炭は消臭効果もあり、毎年喜ばれています。



釧路地区 ● 別海町「バイオガス発電と標津サーモン科学館見学」[開催日]10/7 [参加者]22名

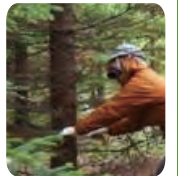
国内最大規模になるバイオガス発電所見学。いままで活用されていなかった乳牛のふん尿から発生させたメタンガスを燃料に発電させる地産地消のつながり、河川環境の改善に寄与していることをお聞きしました。また、標津サーモン科学館では「鮭の一生」をテーマに、遡上のようすやさまざまな鮭が泳ぐ水槽も見学しました。森林から川、そして海へとつながる循環も同時に学びました。



北見地区 ● 知床「樹木医と歩く知床悠久の森 散策ツアー」[開催日]8/29 [参加者]43名

● 津別町「津別の森づくりを知る 枝打ち体験ツアー」[開催日]9/30 [参加者]17名

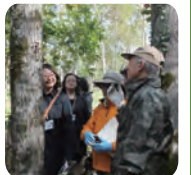
8月は樹木医の鈴木順作先生の案内で知床の森に出かけました。エゾシカの増加によりイチイは樹皮まで食べられ、好まない草木は繁茂するなど、生態系の偏りを目の当たりにしました。9月は津別町の森で町職員さんから森づくりのお話を聴き、枝打ち体験をしました。楽しみながら森と親しむ事ができました。



苫小牧地区 ● 支笏湖「支笏湖周辺で森を学ぼう、楽しもう」[開催日]7/10 [参加者]46名

● 勇払原野「つた森で散策して学ぼう&遊ぼう」[開催日]10/2 [参加者]19名

7月は「NPO 法人支笏湖復興の森づくりの会」の活動地を視察後、ガイドの案内で支笏湖周辺の森や動植物、歴史、環境について学びました。10月は「NPO 法人苫東環境 commons」の案内で自然豊かな「つた森」を散策。森の中の小川に鮭がそよそよと泳いでいて、川と森のつながりを深く感じました。



室蘭地区 ● 厚真町「まるごと厚真 里山散策とハスカップ狩り」[開催日]7/14 [参加者]24名

地球温暖化防止貢献の森林づくりコンクールで奨励賞を受賞されている厚真町の本田農場さんを訪問するに当たり、厚真町の名物を堪能したいと、山口農園でのハスカップ狩りとジンギスカンをセットにしました。本田農場さんからは、山と沼に囲まれた田畑を最大限活かすための手入れの重要性、自然と上手に付き合う姿勢を学ばせていただきました。



2015年度コープ未来の森づくり基金 調査研究交流事業

「オホーツクの助成団体視察と森林活用を学ぶ」

あすもり基金では森づくりの調査・研究を目的に、森づくりや森林時の活用に取り組む団体・企業や助成団体を訪問して学ぶ「調査研究交流事業」を毎年1回行っています。今年は10月7日～8日に、運営委員など21名で、自治体面積の大半を森林が占めるオホーツク地域の3市町を訪問。市民の森づくりや行政、林業・木材加工の現場で森林活用の状況を学ぶとともに、助成団体の活動地視察や交流などを行いました。視察先は次の5カ所です（基金事務局長・運営委員／稲垣一雄）。

- 遠軽町：世界シェア16%を占めるピアノ響板の製作工房を持つ「北見木材株式会社」
- 遠軽町：森林施業作業のボランティアを通じて、森林づくりに貢献・実践している2014年度小額助成団体の「オホーツク森林レスキュー」
- 紋別市：「オホーツクバイオエナジー株式会社」の建設中の木質バイオマス火力発電所や稼働を始めたチップ製造施設、木材集積場
- 滝上町：森林面積が90%を占める「滝上町役場」の森林管理の取り組み
- 滝上町：木質バイオマス普及啓発のバイオニア、「有限会社真貝林工」



あすもり事務局から

基金コースターの名前「もりまる」に決定！

前号で「コースター」の名前を募集したところ、たくさんの個性あふれる名前を応募いただきました。厳選なる選考の結果、旭川のYさんに応募いただいた「もりまる」に決定いたしました！
たくさんのご応募ありがとうございました。



「第6回 北海道の森づくり交流会」来年1月30日(土)に開催

今回は、森づくりワークショップに今年1年間参加してくださった芽室町在住、写真絵本作家の小寺卓矢さんに講演していただきます。TV会議システムを使い、全道11会場で同時開催しますので、お近くの会場で講演を視聴できます。くわしくは同封の案内チラシをご覧ください。

- 日時：2016年1月30日(土) 13:00-16:00
※会場により開催時間が異なる場合があります。
- 会場：札幌、旭川、函館、苫小牧、室蘭、北見、釧路、帯広
- テーマ：森でつながる・森でつなげる
～写真絵本作家が考える自然・ひと・いのち
- 参加費無料 申込み締切1月15日(金)



小寺 卓矢氏

あすもり基金 Facebook のQRコードです。携帯電話などのバーコードリーダーで撮影すると、Facebook ページを開くことができます。どうぞ活用ください。



<https://www.facebook.com/coop.asumori>

森の本

毎号1冊、森づくりに関するおすすめの本を紹介します。

森林の100不思議

編集：一般社団法人日本森林技術協会／発行元：東京書籍



森や樹木の働き、森のいきもの、木の良さについて専門家が分かりやすく興味深く解き明かしてくれる本です。

これまで森を体験している人には、興味の対象をさらに広げてくれるでしょう。また、森を知らない人も、知らず知らずの間に森や木の世界に誘われます。何より分かりやすい。「空飛ぶタネの話」、「富士山にハイマツがない理由」、「常緑樹の葉はいつ落ちる」、「木は鉄より強い」など、思わず「へえ〜!」と納得してしまう興味深いお話ばかり。一つの話は2ページの見開きで読み切り、全部で100の不思議。どの話からでも読んで2、3分で読み切れるので手軽です。ちょっとした空き時間に一つ二つ読み始めたら、次々と読み続けてしまい、邪魔が入らなければ最後まで一気に読んでしまいます。

編集元の日本森林技術協会がデジタル化し、「日本森林技術協会デジタル図書館」で無料で公開していますのでインターネット上で読むことができます。ホームページアドレスは <http://jafta-library.com/100hushigi/> で、続編もあります。ぜひ一度のぞいてみてください。

(基金運営委員・道立総合研究機構林業試験場／濱田修)

あすもり基金 今後のスケジュール

※お申込み開始に合わせてチラシ、ホームページなどで詳細をご案内させていただきます。

- あすもり基金森づくり助成先決定：2015年12月（助成金贈呈式は北海道森づくり交流会の席上で行います）
- 北海道の森づくり交流会：2016年1月30日(土) < 参加申込締切：1月15日(金) >

COOP
SAPPORO

生活協同組合
コープさっぽろ



いっしょに
100まで。

コープ未来の森づくり基金事務局

〒063-8501 札幌市西区発寒11条5丁目10番1号
TEL 011-671-5651 FAX 011 671 5743